

平和・環境・健康はひとつ

島根県立大学 国際 Zoom シンポジウム 実行委員会

少にして学ばば、壯にして成すことあり。壯にして学ばば、老いて衰えず。老いて学ばば、死して朽ちず。佐藤 一斎 (1772 年～1859 年)

啐啄同時

仏果圓悟禪師碧巖録

天時不如地利 地利不如人和

孟子 (紀元前 372 年～紀元前 289 年)

1994 年、人間自然科学研究所を設立。2013 年、映像「出雲から陽が昇る」を発表。

2020 年 4 月 19 日、コロナ禍により、東京半蔵門と太陽ホールを Zoom で結び、日本の縁結びから世界の縁結びへラジオ生放送の支援を開始しました。地政学的に抑制された究極の対立に位置する朝鮮半島の対岸、宍道湖・中海圏から「在日韓国人・在日共和国人・日本人」「韓国・共和国・日本」「中国・露国・米国」の 3 つの価値観が 3 組対立する日を活かし、研究所の 26 年間の活動を背景に、平和をテーマに第 0 回国際 Zoom シンポジウムを開催します。

日本は、1945 年 8 月 14 日ポツダム宣言を受諾、15 日終戦放送、9 月 2 日ミズリー号上で無条件降伏文書に 9 カ国と調印、昭和天皇誕生日の前日、1952 年 4 月 28 日サンフランシスコ平和条約の発効により、連合各国 (ソ連等共産主義諸国を除く) と戦争状態が終結。

その後、東西冷戦が激化、沢山の問題を抱えたまま、フィリピンのスポンサーによる東京ライオンズクラブ設立をきっかけに、西側社会に縁をいただき、米国を中心とする連合国の管理下で、「人類の戦争を終わりにする役割を担うことを決意」8 月 15 日を「終戦記念日」と定め、紆余曲折を経て今日に至っています。

世界的なコロナ禍と憲法 9 条を積極的に受け止め、人間自然科学研究所は 26 年の活動を通じて、人類初の広島・最後の核を長崎に、国連の核兵器禁止条約発効、日本最大の島根原発 3 号炉完成などを背景に、宍道湖・中海圏から、5 体のズットナー像・バルトン像の同時建立をきっかけに、「天の時・地の利・人の和」を得て、「災い転じて福」となり対立から共生の文化に変わる流れが始まることを念じています。



ベルタ・フォン・ズットナー (1843 ~ 1914)

サピエンス全史 2011 年出版

ウィリアム・K・バルトン (1856 ~ 1899)

ホモ・デウス 2015 年出版



西周 (1829 ~ 1897)



2021 開催日 2月22日 月曜日

時間 9:00 ~ 19:00

Zoom アドレスは参加申し込み後メールで送ります

9:00 ~ 9:50 プロローグ

映像：出雲から陽が昇る (日本語版 12 分) (英語版 33 分)

開会あいさつ

Zoom シンポジウム

パネラー

進藤 榮一 筑波大学名誉教授・国際アジア共同体学会会長
金住則行 弁護士・株式会社飛騨上宝自然人倶楽部 代表取締役

コーディネーター

小松昭夫 小松電機産業株式会社 人間自然科学研究所 会社案内

タイムスケジュール

10:00 ~ 12:00 第一部

Zoom スピーチ 9 名が Zoom で参加
質疑応答

13:00 ~ 14:50 第二部

Zoom スピーチ 9 名が Zoom で参加
質疑応答

15:00 ~ 17:00 第三部

Zoom スピーチ 9 名が Zoom で参加
質疑応答

Zoom シンポジウム開会あいさつ・次回のご案内

2009 年 2 月 22 日出雲から陽が昇るシンポジウム
小松昭夫理事長講演 (12 分)

財界にっぽん 2017 年 11 月号
創刊 49 周年 特別企画・企業探訪記事

17:30 ~ 19:00 Zoom 懇親会

飲み物等を持参の上、ご参加をお待ちしております。

Zoom 懇親会は直前申し込み可能。

※ の箇所をクリックして資料をご覧ください

開催地：島根県松江市太陽ホール 主催：国際 Zoom シンポジウム実行委員会

人間自然科学研究所メールマガジン
https://www.hns.gr.jp/magazine_arc.html